



歯舞地区マリンビジョン協議会事務局では、地域協働の取組みにより作られた『歯舞地区マリンビジョン計画(平成19年3月策定)』の行動計画について、個々の推進状況など、活動の様子について「歯舞地区マリンビジョンニュース」を発行して、地域の皆様方にお知らせしています。

発行・編集：歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

「第5回北海道一周浜の味ミニフェスティバル2012」に参加

● 2月16日(木)から2月22日(水)までの7日間、さっぽろ東急百貨店地下1階特設催事場にて「第5回北海道一周浜の味ミニフェスティバル2012」が開催され、歯舞漁協が2月20日(月)から2月22日(水)までの3日間参加しました。

● 販売商品は、毎回大好評である「生干しこまい」を中心とし、「こまい子のはぼまい

● 昆布しょうゆづけ」「開きキンキ」等、当漁協で水揚げされ取り扱いされている鮮魚を地元加工業者が加工した商品10品目。それに加え、ロングセラー商品である「はぼまい昆布しょうゆ」「早煮昆布」等の昆布製品12品目を加えた22品目を出品し、歯舞の特産品をPRしました。

● 販売初日は月曜日ということで集客状況が気になりましたが、開店と同時に次々とお客様が来店。これまでの催事における販売経験とマネキンさんのアドバイスから「試食して商品をわかってもらう」ことを重視し、「生干しこまい・ほっけ」「こまい子のはぼまい昆布しょうゆづけ」「味付け煮つぶ」等の試食をおすすめしました。来場したお客様にそれぞれの美味しさを実感していただくことで、販売につなげることができました。

● また昆布製品についても、歯舞ブランド品「早煮昆布」を結び昆布にして持参し、試食していただくことで、歯舞産昆布製品の美味しさをわかってもらい、沢山ののお客様に販売することができました。

● 今回も、催事を通じて歯舞の特産品である「鮮魚・昆布」等の商品を広くPRでき、多くのお客様に“根室市歯舞”の地名と魅力を伝えられたと実感しています。



<販売の様子>

「地域マリンビジョン推進会議・フォローアップ委員会」に出席



<推進会議>



<フォローアップ委員会>

3月22日～23日、札幌市にて開催された「平成23年度第2回地域マリンビジョン推進会議」及び「平成23年度地域マリンビジョンフォローアップ委員会」に、歯舞漁協の平山指導部長と斉藤総務部長が出席しました。

推進会議は、東日本大震災で被害にあわれた宮城県石巻魚市場(株)の須能代表取締役社長による講演にはじまり、漁業地域における防災・減災に関する課題や展開方向についての講演がありました。

翌日のフォローアップ委員会では、マリンビジョン地域に指定されている13地域の地元関係者が出席。歯舞地区マリンビジョン協議会については、委員よりブランド化やトーサムポロのアサリ潮干狩り漁場について高く評価を受けたほか、女性部による商品開発や、これまでの遊覧船事業に市場食堂を組み合わせた複合的な展開を期待するといった助言がありました。これらを参考に、更なる地域振興を目指してマリンビジョンに取り組んでいきます！

活力ある漁村づくり促進事業 シンポジウムと「ちよだ青空市」に参加・出店

3月7日に東京都千代田区ちよだプラットフォームスクウェアで、「活力ある漁村づくりシンポジウム」と、シンポジウムの追加企画として「ちよだ青空市」が開催されました。

シンポジウムでは、講演及び報告の後、パネルディスカッションが実施されました。歯舞地区マリリンビジョン協議会からは歯舞漁協の平山指導部長が参加し、当マリリンビジョン協議会のブランド化を中心とした取組事例を発表したほか、他地域の取組発表及びディスカッションが行われ、これからの漁村づくりに関する有意義な意見交換の場となりました。

また、午前10時より始まった「ちよだ青空市」では、当組合商品の液状調味料（昆布しょうゆ、昆布八方つゆ等）や昆布製品（早煮昆布、とろろ昆布類）、「はぼまい昆布しょうゆ」を使用した加工品（生干しこまい、助宗タラー一夜干し、大根漬け等）など全19品目を出品し、歯舞の特産品をPR販売しました。当日の来場者の客層は、オフィス街ということもあり、昼休みを利用したOLや中高年サラリーマンが多かったことが特徴的でした。

その中で、棹前昆布を使用した結び昆布等の試食が好評で、関心を持っていただき購入に繋がったり、他の商品説明も聞いてくれたケースもあつたりと、美味しさを実感していただきながら販売を進めました。

今後もこのような首都圏での催事を通じて、歯舞ブランド・特産品（海産加工品・昆布）等の商品を多くのお客様に知ってもらい、根室市歯舞の知名度アップと更なるブランド化向上を目指して、浜の活性化に繋がるよう努めていきます。



＜シンポジウムでの取組発表の様子＞



＜近隣オフィスのOLやサラリーマンで賑わった会場＞

歯舞中生徒がコンブ加工を体験

修学旅行先の札幌で地元PRへ

歯舞中は4月19日（木）、地元特産の昆布を深く知る総合学習の授業を始め、3年生28人が歯舞漁協で加工作業などを体験しました。

生徒たちはまず、歯舞漁協事業部から「はぼまい昆布しょうゆ」についての講和を受け、発売から23年が経過した同商品の特徴や、ロングセラーヒット商品となった要因などを学びました。

その後、直販所と加工工場を見学し、加工工場では「歯舞早煮昆布」の加工を体験しました。計量、袋詰め、梱包、箱詰めの作業に分かれ、工場従業員の手ほどきを受けながら丁寧に作業を進めました。日頃から家のコンブ漁の手伝いをしている生徒たちも、加工を体験するのは初めてで、地元の基幹産業である水産を深く知る機会となりました。

生徒たちは来月の修学旅行で、はぼまい昆布しょうゆを生産委託する北海道キッコマンの工場（千歳市）を5月8日に見学予定。また、当漁協がマリリンビジョンの一環として同校の地元PR活動に協力し、ミニボトル入りの昆布しょうゆを500本提供。生徒たちはそれを5月10日にJR札幌駅で無料配布し、地元“歯舞”をPRする予定です。



＜歯舞漁協による講和を受ける生徒たち＞



＜「歯舞早煮昆布」の加工を体験＞

編集・発行・お問い合わせ

編集・発行

歯舞地区マリリンビジョン協議会事務局

お問い合わせ

事務局 担当：根室市水産経済部水産港湾課水産振興担当

電話：0153-23-6111 FAX：0153-24-8692

